

① 研究課題名	骨粗鬆症性椎体骨折の離床時期の違いによる身体機能や再骨折率の調査	
② 実施予定期間（当院）	倫理委員会承認日 ～ 2023年 3月	
③ 対象患者・疾患等	骨粗鬆症性椎体骨折患者	
④ 対象期間（組入れ期間）	2019年 3月 ～ 2022年 10月	
⑤ 実施診療科（部門）	リハビリテーション室	
⑥ 研究責任者	所属・職名 リハビリテーション室・理学療法士	氏名 金屋敷 遼
⑦ 研究全体についての概要	骨粗鬆症性椎体骨折の現状で確立された保存治療がない。これまでの臨床研究結果ではほぼ一致しているのは、高齢者の骨粗鬆症性椎体骨折症例でベッド上安静期間を2週間程度までにとどめ、長期間の安静を避けることであると考えられる。しかし、ベッド上安静期間を2週間程度とそうでないものの運動機能の比較については、これまで報告されていない。よって、本研究は、離床時期の違いによる身体機能や再骨折率について調査することとした。	
⑧ 研究実施場所	リハビリテーション室	
⑨ 個人情報の保護について	連結可能匿名化	
⑩ 利益相反	開示すべき利益相反なし	
⑪ 問い合わせ先	担当者 リハビリテーション室 金屋敷遼	
⑫ 連絡先	電話番号：0823-21-1601	
	FAX 番号：0823-24-5274	